



市民しんぶん東山区版

こちら東山



3 / 15

東山区の総人口:39,150人
 男性:16,546人
 女性:22,604人
 世帯数:20,901世帯
 平成27年2月1日現在(推計)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/higasiyama/>

東山の“今”を知り “未来”を創る

～手しごと職人のまち東山再発見プロジェクト&空き家の活用促進プロジェクト～

2月15日号に引き続き、区における喫緊の課題を解決するために、地域、大学、区役所が協働して行う「プロジェクト型事業」を紹介します。

今回は、ふたつのプロジェクトのこれまでの活動を振り返ります！

手しごと職人のまち東山再発見プロジェクト

東山区には、古くから京都の文化や都市の営みを支えてきた伝統的な手しごとを継承する職人が数多くいます。この手しごと職人の魅力を発信し、伝統的な手しごとの活性化と継承を目指して活動しています。



京都市長
門川 大作

伝統的な手しごとの継承と空き家の活用。どちらも『今』すぐに取り組むべき大きな課題です。一方で、これらを乗り越えるための取り組みは、地域を活性化し、東山の『未来』を切り拓く活力を生む可能性も秘めています。これからも地域、大学の皆様と連携し着実に取り組みを進めてまいります。

これまでの主な取り組み

職人弾丸ツアー

普段なかなか見ることのできない職人さんの工房を巡り、直接お話を聞くことができるツアー。これまでに5回開催しました。



職人データベース制作

手作りの品の素晴らしさの発信や、職人同士の情報共有のために、簡単に素材別・技法別などで検索できる「職人データベース」を制作中。



職人サミット

職人と参加者が手しごと職人の未来を考え、手しごと産業の活性化を図るためのワークショップを開催。未来へ向けた「サミット宣言」を行いました。



平成26年度は「東山職人3DAYS」も開催しました(2月12日～14日)

参加者が実際に「もの」に触れて本物を感じられるよう、五条坂京焼登り窯(旧藤平登り窯跡地)で、異業種の職人同士によるコラボ作品の販売や、職人の陶器を使ったCAFE&BARなどを開催しました。

また、最終日に行われた職人サミット3では、いろいろなものづくりの「体験」の他、区内で活動する多業種の職人が集まり、参加者と交流し、人生の様々なステージで職人の「もの」を取り入れていく方策を考える「ワークショップ」を実施しました。



3年間の成果を踏まえ、より実践的なプロジェクト展開を図ります。様々な年中行事や、しきたり、記念日に、職人のコラボで出来た商品を生活にとけ込ませ、東山ライフブランドを構築していく、そんなことを考えています。



チームリーダー
京都造形芸術大学
関本徹生 教授

空き家の活用促進プロジェクト

空き家率の高い東山区において、町内会の皆様への聞き取り調査を行い、各学区の空き家の実態を調べました。また、地域の皆様が主体となって取り組む「地域連携型空き家流通促進事業」のお手伝いをしてきました。



チームリーダー
京都女子大学
井上えり子 准教授

調査を続けてきた3年の間にも、空き家対策に取り組む学区が増えてきました。私たちは、空き家率を減らすことだけを目標としているのではなく、空き家が減ることによって地域が活性化し、地域力が向上していくことを目指してきました。

空き家を外から確認し、老朽化具合などを調査します。



聞き取り調査の様子は、朝日新聞の連載でも取り上げられました(平成26年11月28日夕刊)。